

2019 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|--------------------------------|
| 団体名 | 和歌山県情報化推進協議会 |
| 活動テーマ | 臨時災害放送局開設訓練を通じた災害時の地域情報共有基盤の形成 |



この活動は「災害発生時に臨時災害放送局を開設することにより地域内の災害情報共有基盤を作る」と「臨時災害放送局開設訓練を通じ、地域からの情報を収集・整理し、伝達するための仕組みを作る」ことを目的とした。

具体的実施内容は、昨年度の本活動において御坊市、紀の川市で実施した訓練に引き続き、本年度も「県内の5市町」で「総務省と協力し、可聴域調査や臨時局開設訓練を行った」と「地域内の高校で出前講座を開催し、FM 臨時局の運営スタッフとして活動できるように教育した」ものである。2つの地域とは、1つは広川町、耐久高校と共に広川町役場を訓練場所としたもの、もう1つは新宮市、新宮高校と近大新宮高校と共に新宮市役所を訓練場所としたものである。

この活動で得られた成果は「発災時の情報共有基盤としてのFM 臨時局の有効性を確認できたこと」「地域内に不足する情報化人材を育成できる他、地域内の防災関係者の交流を促進し、いざという時の情報交換を円滑にできたこと」があげられる。

なお、FM 臨時局開設訓練に際し、放送機材提供や免許交付、機材設置、可聴域調査等に関して、総務省近畿総合通信局との緊密な協力関係を持ち、多くの共同作業を行った。また機材設置場所選定や地元高校との連携等に関して、地元自治体に多大なご協力をいただいた。ここに謝意を示したい。

なお WIDA では使用可能な FM 放送機材として 2018 年に福島県富岡町から寄贈されたものに加え、神戸市の FM ワイワイが使用していたものも入手している。今後実際に災害の場合などに被災した自治体に貸与する、などが可能になったことも付け加えておく。